

2024年10月

地域おこし協力隊マンスリーレポート

鬼石振興課が鬼ROCKへ出店しました



鬼石の「地域愛」がますますあらわになった今年の鬼ROCK！鬼石振興課は移住相談ブースとフォトコン審査会場、休憩スペースをご用意して参加しました。訪れたゲストには「鬼石かるた」を一緒に考えていただいたり、仮装して来てくれた方にはお菓子をプレゼントする等して楽しんでいただきました。もちろん職員もぐんまちゃんの仮装でイベントをenjoy！（写真）

今回の鬼ROCKはFM GUNMAの人気パーソナリティ内藤さんとアンカンミンカン川島さんが総司会を務めて下さり朝から晩まで大盛り上がり！祭り囃子演奏の時は内藤さんが何度も「鬼石すげえな！」と言ってくださりなんだか嬉しかった～！ね、そうでしょ？と思っていました^^
私は3歳の娘のお相手業務もあり、課のブースには入れずじまいの1日でした…汗

協力隊はつらいよ？！4自治体ミーティング

我らが協力隊OG赤石さんの声かけで、群馬の端っこ桜山に約10名の協力隊が集まりました。会場は桜山公園のシェアカフェしき。藤岡・玉村・中之条・甘楽の協力隊&OGが集まり、情報交換を行いました。移住してからの暮らしや、自治体・地域との関わり、やりたいこと、悩みを共有できた良い時間になりました。隊員の悩みもそれぞれで…現状のままだと任期後の見通



しが立てられない、活動費の利用がしにくくて企画ができない、そもそも自治体の担当職員と話す機会を作れない、など「えー！どーすんのこれから！」と言ってしまうような問題もありました。基本的に「知人・友人ゼロ」から始まるのが協力隊生活。相談できる相手に巡り会うまでは地域の中で孤独を感じることも。そんな中で、相談できる横のつながりを作れた1日となりました。余談ですが、集まったメンバーは7割が30歳以下。なんだか空気が瑞々しかった。きっと、この記事タイトルの元ネタなんてわからないんだろうなあと思うアラフォー隊員の今月の報告を終わります。

文責 吉田まり子

高崎市出身。夫と3歳女兒と3人暮らし。
協力隊3年目となりました。

お問い合わせ先

鬼石振興課

0274-52-3111